明治四十三年一月二十八日（金曜日）　第三百二十號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

論說

働く人と遊ぶ人（二）

働くこと努むれば働くうちに楽みが出で働くことが愉しくなる暇る時も惜しくつて働きたくなる働くより樂しいことは無いといふ境遇に陷る、これが又あまり度を失すると病を得るから此間によく調和を取ることが必要である

要するに遊ぶことと本位の人は遊ぶ爲めに働いて居るのである、仕事をするも遊びたいからである、ソコ〱に早く切り上げて遊ぶといふ目的で仕事をして居る、譬ひ仕事が辻褄合つて居らうが居らうが無頓着で唯遊びたいから片付けるので目の無い所では遊ぶばかりの人がある總じて日本人は遊ぶことを本位の國民である國土があまり豐富なる爲に勞を厭ひ遊ぶ目的で生活せるものが多い

日本の田舍に行き中流以上の人を訪へば十中八九は日々氣樂に遊ぶことより外に考へて居ら無い人だ、所謂溢れたる向上心を發見し得無い、唯生活に窮せずんば生涯遊んでくらせば善いといふ姿である、それも口美味を欲せば勤儉貯蓄を叫んで退嬰を事とし味噌汁に飯ふくらして唯ホンの喰ふに困ら無いと云へば働か無い、天下を袖手傍觀の態度である

那邊にもこの底の人がある、生涯遊んで暮せるから苦勞するに及ば無いと高くとまツたらしい顔して勞を忌避するこの類の人は生から死へ渡すかけ橋に生れ落ちたのである第二十三世紀ほど生活し易き世の中は無いと或西洋人が云つてゐる、何でも一寸した特徴ある人は決して生活に窮せ無い、單に食わり行くとして業無きはなし、この前の世紀に於ても斯くばかり業務は繁多ならざりき、今後の世紀に於ても亦如斯事業勃興すべしと思はれず十九世紀より二十世紀に亘りて生活せる人は最も仕合せであると云つてゐるこの世紀に際會し日本に生れた人は猶其以上の仕合せの人である恐らく日本ほど生活し易い國は無い、上下貴賤おしなべてなだらかに一致和合し生存には極めて易々たる國土である

この生存に易々たる世紀に生れ最も生活し易き國土に在りて生涯遊んで暮せるから苦勞するに及ば無いと高を括つて居る人は國土の價値を發揚せずこれを損傷せんと勉めて居る人で國家の害蟲である、一寸北海を旅行したものはすぐ知つて居る、いかに其國土が粗野であるかを、露人の生活狀態を目撃したものはいかに困難に打勝つて勇猛なるかを感ずる奮鬪的生活などは日本に居ては感じが薄い、日本人は獨逸人などゝ全く別の天性を享けたらしく少しの餘裕つく迄は口入ケ間敷生活難を唱へるが一寸懐が溫かくなるとすぐ働くを忘れて遊びたがる人種である

●度量衡の分布現況

改正度量衡法施行以來其分布狀況を聞くに頗る良好なる成績を示めし恰かも奔流急下の勢を以て普及せられつゝあり由來度量衡觀念の缺如たる韓國に在て如斯好成績を現實せるは從來幾回重ねたる失敗の經驗に徵するに寧ろ意外の感なきに非ずと雖も蓋し當局者の熱心なる奬勵と時勢の機運に促がされたる結果なるべし今現在の普及區域を見るに一昨年迄は僅かに十三箇處ありしに昨年度中に百二十三箇處を激增し現に百二十郡に亘れり故に各道殆んど重要市郡は普及を見るに至りしが唯だ江原道のみ之に洩れ居る爲め非常の不平を鳴らし何故該地のみ等閑視せるかとて質問し來り至急其頒布を促がし來る等の事實あるのみならず既に普及地に於ても頻々として供給の增數を要求し來り目下之に應ずる能はざるの盛況を呈せり亦以て新度量衡器に對する人氣の一斑を窺ひ得べし而して其內最も流行多きものは桝、衡の二種にして桝は一斗及五升、衡器は三十斤、十五斤、二貫五百匁、一貫五百匁のものなるが販賣人は現在百二十名指定しあるが更に出願し來るもの尠からず又全道普及を終りたる地域は慶北忠北の二道にして其他は向ふ三箇年中に完了せしむる計畫なりと

地方通信

▲釜山通信

▲繁榮會例會　二十三日東萊溫泉場なる蓬萊館にて例會を開き一同午餐を共にし三四件の重要問題を建議したる後新年宴會を催し中々盛會なりしと

▲龜山氏の晩餐會　二十二日龜山理事官は在釜高等官連を家理事廳大廣間に招待し盛んなる晩餐會を催したり

▲平壤通信

▲民會召集期　來る廿七日午後二時より民會を召集し左の件を附議する由

一、書記定員規則改正の件
二、徵税金賦課法規則改正の件
三、助役會計會不當規則改正の件
四、汚物掃除規則改正の件

▲滯納税處分斷行　近來非常に好成績なるが重に遊廓側に滯納者比較的多く税務整理上困難を來しつゝあれば今後は寸毫も容赦なく强制處分をなす由

▲元山通信

▲成鏡農銀成績　元山本店外四箇社の支店に資本金僅かに三十五萬なるが昨年度の下半は開店以來の好成績にて本店支店共新線に投資せしに拘はらず株主に年一割の配當をなしたる上後季繰越金三千餘圓ありと

▲元山地方大雪　去る二十一日より降雪は近年稀有の大雪にて三日間に亘り積雪五尺余に及べり

文苑

交叉點（下）　大庭青楓

翌日の市內諸新聞紙は、美人の寫眞を載せて、この悲慘な出來事を報じたその末行に、美人は病院外科室の手術臺上で、敢なくも最後を遂げたと書いてあつた。自分は胸中に、この薄命な美人の爲を描いて泣いた。そして自分はその後電車に乘らなかつた。どんなに雨が降つても、雪が繽紛と飛んでも、筑波颪が砂塵を捲いても、自分は平氣で、テク〱歩を續行して居た、それからもう五年になる。

五年後の今日、自分は電車に乘つて再びこの交叉點を越ゑたのである、角々の商店は以前と變りない、電柱が汚れて、十字のレールが幾度くへつて居るのさ、汚點だらけの赤さ靑の旗を持つて立つて居る信號手が、髯男に變つて居るだけだ、その信號手が入方に配つて居る眼光は、ギラ〱と輝いて居た。

自分は自分の乘れる電車が、此處を無事に通つたのを喜ぶと共に、薄命れ倒れた彼の美人を想ひ出さずに居られなかつた、自分の眼には何時か暗涙が泛ふて居た。

黄昏時の雲を孕んだ空は寒い、今にも最う降つて來さうだ。（完）

日本銘刀傳

第三十席　邑井一　講演

扨て與左衛門と云ふ人は、女房には早く死去なられ、不幸續きの其の上に凶作に出會まして、夫れが爲め今では村端に誠に些やかなる馬小屋同樣の家を借りまして逼入つて居ります、揃てゝ加へて三年以前から中風でございまして、全然もう臥床つきり何うもする事も出來ませぬ、今歲十七歲に相成ります與助、名主の所から馬を借りて参りまして、毎日街道に出ては幾らかの賃錢を貰ひ、夫れで親父を介抱まで致して居ります、親父も大に喜んで誠に宜い倅を持つて仕合せだと、明け暮れ涙ながらに暮して居る、今日しも倉賀野の宿へ出まして、早朝旅客を待つて居りました、けれども何う云ふものか、其の日は旅客もございません　與「ア、困つたものだ一文も取らんで家へ歸つては明日の料に困る、何うしたら宜からうかと考へて居ると、年齡三十四五に相成る立派な武士が一人　武「馬子や〱」與「へェ旦那樣何でございますか」武「前橋まで乘つて往きたいが、何うぢや何程で遣つて呉れるか」與「へーへー思召で宜しうございます」武「思召と云つたつてなか〱道程もあることゆゑ、何程で往くか申して貰らいたい」與「へー〱早朝からまだれ客樣が一人もございません、まだ一文も取らず何うしたら宜かんべゑと思つて居りました所、いくらでも宜しうございますから乘つて往つて呉んなせゑ、思召で宜しうございます」武「ウム、まだ今朝から一文も取らんか、夫れは氣の毒のことである、好し〱相當の賃銀を遣はすであらう」與「難有う存じます」武「ウーン、夫れには及ばん拙者は馬に掛けては天下に幾人とあるまいと自慢をして居るくらゐなものだ」ひらり馬に跨つた其の早さ　與「オヽ旨いもので、すれ、馬のれ師匠さんでもなさいましたか」武「イヤ馬術の指南は致さんが小供のうちから馬の稽古は好く致したで、畜類なんてものはなか〱穢いものでな、此人は馬が上手だなど思ふと能く言ふことを聴くが、此人は馬に乘つたことのない人だなど思ふと、なかなか動かぬものでな」與「左樣でございます、畜生ではございますが、能く知つて居ります」武「此馬は大層痩せて居るおやあないか」與「へーもう年を老つて居りますから、食ひ物も碌に食はず、重いものなぞは背負ません」武「れ前の馬か」武「イエ、名主樣から借りて居るのでございます」武「れ前はなんさいになる」與「分からねね、なんさいとは何樣なものでございます」武「品物ではない、年はいくつになると云ふのだ」與「へー年ですか、年なら年と早く云つて下さりやア宜いのに、なんさいなんてむかしく言ふから分りやしねね」武「面白い奴だな」與「年は十七になります」武「十七か、大層身体が大きいの」與「身体許り大きくて困ります」武「両親はあるかの」與「可笑なことを言はつしやる、兩親がなくつて出來るかね、兩親があればこそ私が出來たのぢや」武「なか〱面白いことを言ふな、兩親は達者で居るかと聞くんだ」與「所が阿母は私の小さい時分に死んでしまい老父は中風で三年以來寢たつきりで私が毎日宿に出て客を乘せて駄賃を貰らひ、夫れで漸く老父と二人の生活をして往くのでございます」武「左樣か、夫れは氣の毒だな、老父は何歳になる」與「今歳五十九になります」武「五十九になるか、夫れでは私の父親と同年だ、然し貴樣は孝心だな、其樣なことを聽くと俺も死んだ父上の事を思出して（イ）やな氣になつた、さア之れを貴樣に遣はす」與「旦那樣ッてりやア小判でございます」



京城新報

滿洲劇の開幕（十二）

韓半島に及ぼす影響

加州金鑛發見當時に於ては米合衆國の太西洋側と太平洋側とは陸上の交通が極めて不便であつた、只僅かにパナマ地峽に於て連絡せる大西洋側の汽船と太平洋側の汽船とが交通運輸の機關として任つた、而かるに一八六五年**露機山脈を橫斷**せる米國**縱貫鐵道**が完成した、是より前き桑港パナマ間にのみ汽船を動かしたる**太平洋郵船會社**は一八七八年に於て支那との通商を目的として新たに定期**東洋航路**を開始した、**香港**は本航路の**終點**で日本開港への寄港はホンの序での**駄賃取**りと**石炭積載**の爲に外ならなかつた。由來米國に於ける**政治、宗教、資本、製造工業**等の**中心**は**太西洋**に面せる**東部**にある、此中心たる東部は歐洲諸國に比して東洋特に支那とは格段なる**遠距離**を有して居た、而るに縱貫鐵道と太平洋郵船とは此遠距離を**人爲的**に**短縮**した、茲に到つて支那との交通が輕便になつた、同時に頻繁になつた、其結果アンクルサムは支那に於て歐洲の强國と讓らざる關係を持に至つた。始め米人等が日本を支那の屬國位に考へたのは大なる誤解であつた、而して此笑ふべき誤解は我開國後幾ばくもなくして解けた、素より細流を擇ばざる主義の米人は支那との通商の傍ら我國との通商をも怠らなかつた、併し米商品は支那に於ても我國に於ても到底英商品の敵でなかつた、尤も清米貿易の關係は始めから今日に至るまで米國が賣方で支那が買方になつて居る、之に反して日米貿易の關係を見れば我は常に米國に多く賣つて少なく買ふてとになつて居る、此**關係**は決して**自然**でない、乍併國情の然らしむるところ何とも仕方が無い。日米の貿易は開國以來常に**不平均**であつて我は米に**賣越**した**差額**を以て我と**英獨**との**貿易**に因つて生ずる**爲替上**の**借**と**決濟**することになつて居る。

近年に至つて我は米の石油、棉花、小麥粉其他を輸入するこどが少なからざるを以て稍不平均を減じつゝあるも未だまだ我は彼に對して**賣越手**となつて居るのである、日米の貿易が獨り不平均なるのみならず其金額の比較的小なるのが米人の重きを置かざるところである、記者の數年前ワシントン大藏省に就て日米貿易に關し聞ふ所あるや、當局某氏記者に答へて曰く『日米の貿易額は極めて**少額**にして我と**墨西哥**との貿易額の**次位**にあり、日本我の**關税政策**に**憤激**して如何に**反抗的**に其關税を引揚ぐるとも我は少しも痛痒を感せざるべし』と、米人が我との貿易に重きを置かざる如斯しである日本が從來英獨より輸入して金高に登つたものは**軍艦**と**大砲**と其他の**兵器**とである、我國往年**笠置**、**千歳**の兩艦を米國より買つたことがあつた、トコロが直段に於ても技術に於ても米は到底歐洲製艦者の**競爭者**に**非**ざることが明かになつた、而り軍艦のみにあらず大砲兵器に就ても勿論の事だ、况はんや今日の我は**一般工業及び製艦鐵工**に於て殆んど**獨立**する迄に**發達**した、我如何に米國より多く買はんとするも彼は我に**仕向ける物**を有せざることとなつた。

東京電報

▲**鐵道の增設計畫** 政府は衆議院に鐵道敷設法中改正法律案を提出したり案の内容は左記各條を增設するにあり

一、千葉縣下船橋より佐倉に至る鐵道東尾より東金に至る鐵道及木更津北條より勝浦を經大原に至る線
一、熊本縣下八代より鹿兒島縣下米津を經て鹿兒島に至る鐵道
一、青森線より分岐して山形縣下高田に至る鐵道、宮崎縣下宮崎より鹿兒島縣下吉松に至る鐵道
一、九州豫定線中熊本縣下八代より鹿兒島縣下米津を經て鹿兒島縣下川内より鹿兒島に至る鐵道

提出理由は鐵道連絡と豫定線を視察したる結果第一期線中追加を爲すの必要ありと云ふにあり（廿七日）

▲**北海道線の延長** 政府は北海道に於ける鐵道連絡及拓殖上線路を追加する必要ある理由の下に鐵道敷設法中改正法律案を衆議院に提出せり内容は石狩國砂川附近より下倉名に至る鐵道延長なり（同上）

▲**關東都督の後任** 大島關東都督の後任に就て川村大將の兼任説、長谷川大將の新任説、大久保駐韓軍司令官の兼任説なるが陸軍省側にては福島參謀次長を選定せんとしつゝあり福島中將は故參の顏觸なると且つは清國に對し特別の智識を有するは勿論外交上の智識も武官中傑出するものあるは衆目の認むる所なれば其適任なるは勿論なれども官等の關係上中將として其地位に當らしむるや疑問なり尙ほ川村大將は軍人以外の職務は自己の所信に背すとて就任せず（同上）

▲**澁澤男爵の功勞** 澁澤男爵は日韓の金融を助け又韓國銀行設立に對し多大の功勞ありたる爲め金杯一組を下賜されたり（同上）

▲**東拓無能と議會** 東洋拓殖會社重役の無能は其の事業不振の原因たること各政黨一般に之を認め今期議會に一大質問を提出すべく目下調査中なり（同上）

▲**内債借更の決定** 昨夜桂首相官邸に各銀行家及實業家を招き財政問題協議の末内債借更に決定

▲**臺灣の裁判制度** 臺灣島民は今尙ほ特別令の下に支配せられ裁判の如き二級制度なるが韓國に於ても司法權委任以來三級制度となれるを以て臺灣にても内地同樣とすべく今期議會の問題とせん計畫中なり

▲**工場法案の提出** 工場法案は已に閣議を經て上奏中なれば一兩日中に議會提出の運びとなるべきが其內容は曾て世上に發表されたる者と大體の骨子に於て異る所なし

▲**小村外相の演說** 小村外務大臣は本日衆議院に於て對米反對の顛末を演說せり其大要は米國の提議に係る滿洲鐵道中立問題は帝國の滿洲に於ける既得權を侵害するものにして同意を表する能はず殊に帝國の滿洲に於ける曾て門戶開放の公論に違背せる事なく且つ將來とても決して機會均等の主義を失はず倍々滿洲の開發に努むるに吝ならず故に斷然之に反對の意志を表明したり

雜報

▲**宇佐川將軍の名言**（稚氣寧ろ憐む可し）

韓國橫貫鐵道敷設は利源開發上刻下の急務にして何人も之が速成を希望し居るのみならず又之を軍事的價値より見れば更に一層切要なるを認め曾禰統監は其進退を賭して內閣に迫り以て四十三年度豫算案に京元湖南の二線を計上し今期議會に提出せしめぬ然るに目下測る可からざる議會の狀勢と當局者の折角の計畫も徒らに政爭渦中に葬り去られ在韓同胞の熱望を空ふするも難計を慮り吾同胞の團結に成れる韓鐵期成同盟會は委員二名を擧げて上京遊說せしめ以て萬全の成功を期せり素より委員二名の上京滯在費は尠からぬ巨額を要すべく故に之を有志の寄附に仰ぎ其用を辨せんと欲し一篇の趣意書を撒して民間士商を說きたるに一人の之が醵出に吝なるものなく恰かも私事に拋つが如き心を以て應諾したり然るに何ぞ計らん韓國拓殖の國是に基き設立せられたる東洋拓殖會社總裁宇佐川陸軍中將は該趣意書中經濟上及軍事上の文字ありしを指摘して曰く軍事上の事は苟くも平民の語るべき範圍に非ず此不穩の字句を撤去せざれば贊助する能はずと力み出し訪問者は爲めに呆然自失したるも蓋し名將の名言唯々たるに如かずと殊更に恐縮の態を裝ひ漸く幾分の醵出を得て退出したりと軍事的文字何が爲めに不穩なるか韓鐵敷設の經濟的價値のみに非ざるは勿論なるも若し總裁の言の如く平民軍事的文字を弄する能はずとせば現役陸軍中將宇佐川男爵も亦產業的會社總裁たる資格なしと言を得べく問はゞ問ふに落ちず語るに落つるの類なりとて某氏は笑談せり（電通）

來年度の鐵道工事

韓國鐵道の來年度工事費即ち來る四月一日より着手すべき工費金に就ては目下帝國議會に提出中なれば今日之れを確的のものとして報道することは能はずと雖も最初韓國鐵道より提出したる豫算は京元及三南線に三百万圓、京義線改修工事及平南線に百十萬圓なりしも大藏省にては三百萬圓を計上したるのみなれば無事に豫算が通過したりとするも三百萬圓以上を使用すること能はざる譯なるが是れに付き鐵道當局者の意向を聞くに來年度に於て京元及三南線の工事は單に測量位に止め約三十萬圓許りを使用し其の他の大部分は京義線の改修工事に振り向ける由にて京義線の東林良策間及新幕、開城間の如き至急に改修をするのみならず其の他の橋梁等に就ても之れを完全なるものとするには三百萬圓以上を要する由にて京元及平南線は後廻しとして一氣可成に工事を爲すの豫定なりと云ふ猶鴨綠江の架橋工事は韓國の國境迄は既に橋臺を水面以下まで成就し居れるが清國領の河中にある橋臺は清國に異議ありて未だ着手せざるも解氷期に至らば直ちに着手の豫定にして明治四十四年度に於て全部落成の筈なり

最近の在韓邦人

統監府の調査による最近の在韓日本人戶數及人口左の如し

地名	戶數	人口
京城	一[illegible]、八七二	四[illegible]、六八三
仁川	三、二五九	一三、八四八
群山	二、二八九	七、二一四
木浦	一、九六七	六、七〇〇
馬山	二、二六三	八、二一四
釜山	七、〇一二	二六、一〇〇
大邱	二、三五六	七、四〇一
元山	二、一二〇	七、〇〇一
城津	一九四	五八六
清津	二、一一〇	六、八六〇
平壤	三、二〇九	一〇、九九九
鎭南浦	一、〇五四	四、二二〇
新義州	一、七〇八	五、〇〇五
計	四二、四九三	一四四、八〇四

畜產會社營業成績

資本十二萬圓（既拂三万九千四百圓）
昨年度純益金二千二百六十一圓十六錢六厘
後季繰越金百四十七圓十七錢四厘
專務取締 肥塚正太

韓國畜產株式會社は南大門外に一萬餘坪の廣地を有し盛んに畜牛に意を傾注しつゝあり同社は他の會社と全然趣きを異にし其の決算は年度計算となし居れり今昨年度に於ける同社の畜產に關する理想及び副業たる營業上の成蹟を聞くに抑も同社は目下の營業たる乳汁販賣は韓國に於ける畜產の改良が唯一の目的なれば現在の牛乳販賣は其の副業たるに過ぎざるなり又昨年九月よりこれも副業の一つとして乳汁の剩餘を以てバタ製造に着手したるが其の質の卓絕なるは遠く外國品の及ばざる處にして一タビ同社のバタを使用したるもの到底其の美味を忘る能はざる處なり同社は他の會社に比較して利益の尠少なるは同社の目的たるや短日月に利益を擧ぐる方針にあらずして專心畜產改良たる百年計畫を立て營業に從事し居るものなるがかく民度の發達せざる韓國に於ての畜產業としては成績最も良好なりと云ふべし之れ等は同社の經營宜しきを得たる結果なり

●**水產組合改革延期** 朝鮮海水產組合は年々統監府より二萬五千圓韓政府より一萬五千圓の補助金を受け居るのみならず韓漁民獎勵費等特に高額の補助金を受けつゝあるにも拘はらず冗費多くして組合本來の目的に關しては成蹟の見るべきもの少なく其故に有力なる漁業家中には組合全廢の說を主張する者少なからず此を以て今回の代議員會に於ては組合の冗費節約の爲め各地の支部を廢止して地方の官公衙に其事務を囑託することを決議したるが龜山新組長は水產組合の前途に就き別に大改革をなすべく意見を有する由にて代議員會に於て決議したる支部廢止の件は暫く其實行を延期することになりたりと云ふ

●**韓海捕鯨の好成績** 目下韓國近海に出漁中の捕鯨船は東洋捕鯨日韓捕鯨の二會社にして前者は大阪に本社を下の關に營業部を又後者は本社を門司に置き韓政府の允許を得て共に其根據地を巨濟島方面に占有し居れり而して日本海及黃海の間を往來して鯨群を戰ひつゝあるが本年の成績は頗る良好にして最近の捕獲高に見るも近年稀有の數を示めし此勢を以て推移すれば兩者にて千頭以上に達すべしと

●**各地方の牧畜獎勵** 牧畜は韓農家の副業として最も適當なるを以て農商工部に於ては昨年良種牛を日本より輸入して各地へ配當する等牧畜獎勵の爲めに約四万圓の補助金を支出したる由なるが今年よりは各道に於て地方費を以て牧畜の獎勵をなす筈にて忠清北道の如きは既に北韓より十六頭の種牛を購入したる由なりと

●**隆興會社決算結果** 白完爀氏の社長たる韓國隆興株式會社第三期決算結果を聞くに左の如し

總益金 金二千六百七十五圓八十五錢五厘
總損金 金七百九十七圓九十八錢五厘
差引純益 金千八百七十七圓八十七錢

而して同社の拂込資金は二萬五千圓にして千二百五十圓則ち年一割の配當を爲す由

●**仁川の海戰紀念日** 來月九日は仁川海戰紀念日なるを以て例年の如く前夜は海岸數ケ所に篝火を焚き同日は市中一般國旗提灯を吊して祝意を表するは勿論時の上陸軍木越中將は目下龍山に駐在中なるを以て盛なる歡迎會を催さるべき計畫ありと云ふ

●**連累者訊問終結期** 李在明及び連累の訊問はこゝ四五日中に終結の豫定なるが兇行前夜李在明と共にわりし李東秀一人のみはいつれへ潛伏しけん未だに縛に就かず目下所在搜索中なるが訊問の結果更に新たに檢擧の必要ある嫌疑者尠からず但し目下拘引中の一部は釋放せらるべしと

●**兇漢係判事の確定** 兇漢李在明に關する下調は漸々進行しつゝあるが韓國には豫審制度なきを以て下調終了後直ちに公判に付せらるべく而して其際の係判事は左の如く決定したりと

（裁判長）塚原友太郎（判事）谷多喜九郎 求昌

尙ほ檢察官は檢事伊藤德順氏なりと

●**新聞社行賞と韓國** 日露戰役に關する新聞社の論功行賞は先般發表せられたるも韓國の新聞社は全部之に漏れ居るを以て統監府にては大に之を遺憾とし頃日來綿密なる調査を遂げ本國政府に具申する處ありたる由なれば近々其御沙汰あるべしと聞く

●**獨逸皇帝の誕辰日** 二十七日は獨逸皇帝陛下の御誕辰日に相當するを以て統監府よりは石塚小松國分の各參與官、軍司令部よりは大久保司令官病氣に付き其代理として十時副官、明石參謀長及び各國領事は獨逸領事館を訪問して祝意を述べたりと

●**福島中將の歡迎會** 今回福島中將來京に就き各官衙勅任官以上及軍隊佐官以上にて來る三十一日午後五時三十分より花月樓に於て歡迎會を催す由因みに勅任官以下と雖も中將に親交ある者は列席するを得べし

●**共進會出品物送荷** 目下農商工部に於て取纏め中の名古屋福岡兩共進會出品物は本月末發荷の筈なるが或は來月初旬になるやも知れず

●**朝鮮日日紙の解停** 東拓攻擊記事の爲め再度發行停止を受けし朝鮮日々新聞は昨二十七日解停されたり吾人は愈同社の奮鬪を祈る

●**軍司令官の招宴** 大久保軍司令官は二十八日午後五時半より大觀亭に於て福島中將を主賓とし木越師團長、石塚長官、宇佐川中將、小松、荒井、木內、俵、松井、小松、國分等の各參與官及び市原韓銀總裁、明石參謀長、榊原憲兵隊長、藤原軍醫監、小倉主計監等を招待して盛宴を張ると云ふ

●**學部次官の招宴** 俵學部次官は二十八日夜地方費に關係ある內部、農商工部、度支部、學部の職員數名づゝを花月に招待し實業學校施設其他道の敎育問題に關する懇親宴を催ふす由なり

●**曾禰統監誕辰日** 廿八日は曾禰統監の誕生日なるを以て統監府職員一同は電報を以て統監に祝意を表すべしと

●**市原總裁の招宴** 市原韓銀總裁は來廿日午後六時より新聞通信記者及特派員を花月樓に招待し晩餐會を開く由

●**大塚夫人の葬儀** 農商工部大塚書記官夫人富士子の葬儀は昨二十七日明治町淨土宗開敎院に於て執行されたるが官民の會葬者頗る多く盛儀なりと

福島中將の行程

二十七日夜十時二十分を以て南大門着入京の筈なる福島參謀次長は巴城館に投宿の筈なるが其の行程左の如し

二十八日午前 軍司令官訪問、統監府に總務長官訪問、憲兵隊長午餐會、日本小學校
同午後 工業傳習所、官立漢城師範學校、官立高等學校、官立高等女學校、普通學校
二十九日午前 龍山印刷局、軍司令部、師團長午餐會
同午後 龍山陸軍諸部隊
三十日 仁川往復信夫理事官午餐會
卅一日午前 慶福宮、親衛府、美術品製作工場、拓殖會社、韓國銀行
同午後 昌德宮秘園、博物館、大韓醫院、東亞煙草會社
二月一日 出發馬山浦

●**道家氏拓殖入社** 此程農商工部技師を辭職したる道家充之氏は東拓會社に入ることに決定せり因に同氏と共に辭職せし中牟田五郎氏は歸國すべしと

●**上京委員の決定** 穀稅增率案反對運動委員として仁川商業會議所會頭加來榮太郎氏東上する事に愈決定せりと

●**岩本英央氏歸京** [illegible]元田肇氏方の婚儀に列する爲め[illegible]東上せし同氏は二十六日夜南大門着歸京したり

●**稻綿桂園氏全快** 病氣引籠中なりし大坂每日特派員の同氏は全快せりと

▲**治外法權**▼ 宇佐川東拓總裁は鐵道期成會の委員に向つて平民は韓鐵の軍事的價値などを語るものではないと訓戒したツーだ、委員はハイハイと受流し置いて、ソレカラ後で時に中將閣下と出掛けた、委員曰く只今のお言葉によると平民が鐵道の軍事的價値を說くは宜敷無いとの事だが閣下が軍人の身でありながら拓殖や經濟の事を說くのに比して如何でありましようと▲宇佐川先生委員の言を聞いて成程と感服し、扨てもノッピキならぬ破目になつて惜い惜い乍らトウトウ若干の金を期成會へ寄附したツーだ▲宇佐川總裁と云へば過日本紙に掲載した同氏に關する記事に付き尋ね度き事があるから京城憲兵分隊まで出頭せよとの電話が二十七日の朝本社へ掛つた、本社は新聞の記事に關して京城理事廳へ呼出されるなら法の命するところ厭でも行く、併し憲兵さんから呼出される理由は無い、因つて不本意ながら分隊長殿の出頭命令を拒絕した▲一体本社が承知したいのは吾人は平常誰の保護取締を受けて居るかと云ふ事である、憲兵隊か理事廳か乃至は警視廳か、同一の新聞記事に就てアッチからもコッチからも出頭では遵從するところが判らぬ、之は此際是非共明かにして置きたいものだ▲本願寺法主が北陸三縣下にて百二十万圓の淨財を蒐集するの擧を以て內務當局は財界攪亂の憂ありとし急電を福井、石川、富山の三縣知事に發して取締方を命じたそうた、內務の二宮尊德主義と親鸞上人さが飛んだところでブッカッタものだ。

韓銀會見錄 本日休載

●**迎日灣沿岸の漁業** [illegible]…も又船便を利用して釜山に積出するも[illegible]…は想像するに難からず今回免許漁業出願せしもの百五件に達し內免許四十四件不免許四十三件留置分十件非免許…[illegible]

●**巨文島附近の不漁** [illegible]十二月に至る漁業季節到來に比し頗る不漁にて營業者損失一万三千四百圓に上り爲に漁夫の六十餘名は日本に歸…[illegible]

今度山林局を辭職せし道家、中牟田二氏送別の意を表する爲廿八日午後五時より京城ホテルに於て晩餐會を催すと

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●番頭 十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市內に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●事務員 高等小學卒業程度の者至急御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戶 岸田

●事務員 多少法律事務並に簿記の心得ある二十前後の青年一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内舊韓國軍部前六疊三間四疊半並に炊事場付格安に貸したし 所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戶建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり汽車道に近く出入便利希望の方は電話七四番

廣告

龍山老松町 軍司令部官舍新築御用達 土木建築請負業 磯口商店 電話一一九番

龍山新市街山下町 內科 小兒科 眼科 原醫院

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

熱心專志多年齋斯道於陰陽學 ... 京城本町五丁目 三一舘 土御門派大陰陽師

京城旭町壹丁目五四 齒科 齋藤英壽 電話一四一四番

待春日 ...

新漬大根大賣出

◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬

官衙御用達 京城本町一丁目(長谷川町筋) 三輪商會 電話三八六番

荒物世帯道具一切

大坂 合製白紋油和洋蠟燭 和傘岐阜提灯魚釣道具 卸小賣

地方在住の各位には郵便を以て御送付申上候 御注文は代金引替小包の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帯道具 各國石油米穀 銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒 並に買次業

京城本町六丁目 合 西崎嘉七本店 電話長二一〇 電略(ニカ又はニ) 振替貯金口座東京(九四一七番)

まわた製 毛布 くつさき 防寒用各種 たびさき かいきまわた類

如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし

代理店 京城本町一丁目(長谷川町へ曲る) 栗永商店

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層勉強致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出しに易からしめ、余白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回廣告の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用命仰せ付けられ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日 京城 日韓印刷株式會社出版部

東京足袋 本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

上等石炭各種 並に無煙炭販賣 京城本町二丁目 林田交換所 電話六十五番

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保に

右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質業 全

京城竹園町二丁目 樋下田本店 (電話九三二番)

京城相生町(南大門通魚市場裏) 樋下田支店 (電話一四三九番)

龍山榮水町六十三番戶 樋下田支店 電話四〇四番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)

京城旭町一丁目六十七番戶 辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膀胱加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前 貸席 鐵冷温泉 電話千四百十一番

神戶養生分院 京城和泉町(南門湯横) 京城梅毒病院

◎花柳病專門並、痔(注射療法)

●入院隨意● 院長 醫學得業士 廣田辨平 (電話一二九四)

にやすくうります 綿わた綿ワタ ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角 御問屋 唐川商店 電話二六一番

京城明治町二丁目(佛國教會前) 辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

●唐津石炭直輸入商 並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

韓國銀行

本店用 電話(長)三三六 當座係用 電話(長)二六〇 用度係用 電話一一三一 來客用 電話三三二 臨時建築部用 電話一〇六 ...

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、

爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區(以上日本)釜山、公州、光州、晉州、海州、沙利院、博川、寧邊(以上韓國)大連(清國)

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

蒸溜 牛乳 消毒 京城大和町一丁目 平山牧場 電話三三三

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御最負の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る) 待合 醉月 電話二六五番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目 大上商店 (電話二五一番)

和洋酒、罐詰、穀物麪類、乾物、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒種特約販賣舟御望に依り商品切手調進仕候

資本金 一千萬圓 積立金 五百十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市築町 出張所 大阪

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

韓國 日本 五島、壹岐、佐世保、嚴原

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行韓國總支店 京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野

東海道 名古屋、宇田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山小郡、長府、網干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 久留米、若松、中津、小倉、門司、行橋、直方、飯塚、博多、福岡、若松、伊萬里、後藤寺、佐伯、別府、大分、宮崎、鹿兒島、牛津、長崎、佐賀、熊本、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南、

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川支店 瀛船出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 二月十一日後三時出

●大連行 相模丸 二月十五日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出

●大連行 酒田丸 二月 三日正午時出

●釜山出帆 立神丸 元山、清津、浦鹽行 一月廿六日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事



拳骨（十四）

桃睡

「併し花房君の素行の修まらんのも少し話しいぢやありませんか」

「夫たる花房君に關する事は只今話す限りでないです、良人が怒らうあらうと怒らうあらうと其の舵を取つて往くのが妻たる者の役目なんだから……」辰八が怒らしたからつて直に我家を飛び出して居た日にや良人は始終妻の鼻息を伺つて居なきやならん、其麼野呂間が何處にある者が、君自身の境遇として考へて見給へ」

「僕に向つてさう君が憤る處はないぢやないですか」

「別に憤る譯ではないが君の方の云ひ分が餘り過ぎて居るから」

「何も無法な事を云つたんぢやないでせう、現に角夫人も非常に腹を立てゝ居る場合だから本人直接に來て詫めた上引取つた方が穩當だらうと云つた迄です」

「そ、其の詫めるが間違つとるぞ云ふんです、そうなりや女は愈々增長する畢竟は良人が嗅に詫らねば引取られん事になる」

「おや怎う爲りや可いと云ふんです」

「造作はない、れ六夫人が一札の詫證文を入れさへすれば可いのです」

「夫りや出來ん」雲水君は反り身になつて濟した。

「出來ねば夫れ迄」

「縁を切ると云ふんですか」

「仕方がないです」

「併し僕は仲介者でも何でもないが夫人の躰は一体怎うする意です」

「怎うするつて自分の躰は夫人自身が處分する迄」

「はツゝゝは」馬鹿かと云はぬ許りに冷笑した。

「何を笑ふんです」と香海眉をピリつかせる。

「兎に角夫人を呼びませう、夫人の諾否が先決問題だから」と側らのかず子夫人に眼配せする、夫人は旨を領して起つて往く

「夫人の諾否なんかは怎うでも可い、其麼權利は夫人には無い筈だ、普通の結婚から成立した夫妻でない事は君も承知でせう」

「そんな亂暴な事を云つちや可かん、苟くも法律上入籍してある者が」

「法律だ何だと此際そんなこ六ケ敷い言語は不用です、詫狀入るれば引取らうしそれが出來ねば離縁と、話は至極簡單だ」

「ハツハツハ」と雲水は再び哄笑した。

「君と僕との對談では意志の疏通もあらうから兎に角僕が直接に花房君に逢つて見よう」

「そんな餘計な事をしなく共、僕の話も本人の花房も其の要領に於ては相違がない」

「這麼事件は一概にさうも往んて」

「何が可かん、大体君は我輩を馬鹿に爲とる」徐々香海逼を始める。

「ハツハツハ、君はた可笑い事を云ふですね」

「ナ、そのハツハツハとは何だ、人を馬鹿に爲た笑ひ方ではあるまいか」

弦にかず子夫人が這入つて來た。

「何處にもれ在おやありませんですよ、今方何處にかれ出懸けになつたと云ひます」

高慢婦人何處に往つた者やら、さらでも鴨氣な香海居士が怨ひ寄り相な筈はない。

刺客來は事實

▲山縣公以下五人を覘ふ

一昨紙上にて刺客來の風評として李在明黨餘の者が李完用を九死の裡より救ひ出したる菊池大韓醫院長の後を追ふて渡日入京なしたる由を報道し置しが今聞く處に依れば該風評は事實らしく刺客は五名にして當地の我が當局よりも警視廳に宛て電信する處ありて我が東京にては警戒極て嚴なりと倘昨紙菊池氏を覘へるが如く記載せしもりは誤報にして彼等は一に

山縣公桂首相、小村外相、長谷川大將、曾禰統監の五

氏を暗殺せんとし在京韓國留學生と氣脈を通じ巧に其の姿を隱見しつゝありとの事にて警視廳にては八方に探偵を出し且五氏の身邊を警戒し居りとなり

●逃て情夫と對向ひ

▲女は元にしきの五郎

古市町百十九番戸中國屋と呼ぶ料理店の酌婦に並木はつ（二二）と云ふ女あり生國は横濱市山下町百二十八番地の平民にして元南山町にしきにて藝名を五郎と稱して藝者をなし居し女なるが間もなく村上菜と云ふ男と淺からぬ關係を生して昨年六月廢業なし曙町附近にて面白ろ可笑く新世帶を持ち居たりしが何れ長が持てる爲樣はずなく僅かの内に手[illegible]つて再び長谷川町は一福亭とかに酌婦何れ共つかぬ鑑にて還入り込みしが又候水野仙吉とか云ふ情夫の出來し爲め其處にも居辛くなりし者から今度は一足飛びに古市町は前記中國屋に八十圓の前借にて仕替ねせしは昨年の十二月二十七日の事なりし仕替は當初こそ神妙らしく勤め居たりし者の慣るゝに連れて次第に元の地金を現はし時折要事にかこつけては大和町に住む情夫水野の宅を訪づれて夢なき逢ふ瀨を樂み居たるが遂には夫れも面倒臭しとや思ひけむ去る廿三日の午過ぎよりどろんと姿は雲隱れ四日も過ぎ五日も來れど一向歸つて來る樣子なきにかゝ大金の掛りし抱へ女其の儘ではと樓主も愈々騷ぎ出し彼れかと詮議中大和町二丁目に水野と云ふ情夫ありとの事を聞くより直樣同家に駈け附けれど女も男も留守なりしかば其旨最寄の交番に訴へ置しに處昨晩深更に兩人共歸宅したりとて警官は右はつを本署へ連行昨朝大目玉を頂戴して樓主に引渡されたりとは手コ摺つた寘逹女かな

東西湯屋廻り（一）

▲中々面白い風俗がある

先づ文明の人間が樂んで居る處に、浴場のない處はあるまい、されば各國浴場の風俗を見ると、奇妙なのや愉快なのや、華美、莊嚴の種々ある先づ埃及から始めやう。

埃及の浴場はなかゝゝ整頓したもので冬季には暖かな空氣を充たした一室があつて浴客は皆此所で着物を脱ぐ着物を脱ぐと其室の番頭が一枚宛の綴物を貸して呉れる、客は其を胸部から足まで纏つて浴槽の室に行くと中央に熱湯が噴き出して居て其の下の方には八角の大理石で作つて臺が備へ附けてある此の中に入ると絶へず噴き出して居る熱湯の爲めに蒸されて發汗して來る、暫くジツとして居ると其の發汗と蒸氣との爲めに纏つて居る布が漸々に濕つて來る其の時客は布を脱つて大理石の上に横になると番頭が來て丁寧に肩から腰迄關節を一々揉みほごして呉れる、それが了ると陶器で作つたザラザラしたもので足の裏をこする、其が又何とも云へぬ好い心持ちである。

●亭主の血眼

京城大和町二丁目富田虎吉の内縁の妻なる原籍兵庫縣城崎郡日高村生れの安藤しず（三三）と云ふは一昨日午前十時頃無斷外出したる儘行衛不明となりしかば虎吉の驚きは一通りならず血眼となりて諸所方々を捜し廻りしも見當らず仁川に下りたるやの形跡あれば即刻仁川して尋ね歩きたれど見當らぬにぞ其旨花房町派出所に訴出でたる由なり

●怪しの韓人

仁川中町の夜警番谷口兵太郎と云ふが昨日午前六時頃中町風月堂の横通りを警邏中年齢廿一位の韓人が叺に入れある綿金具約五貫目をば歿と重たけに背負ひつゝひた走りに行き過ぎんとする擧動の不審なるより其の出所を問ひ糺したるに何も云はず件の叺をば其場に投げ出し外洞眼がけて一目散に逃走せしかば其旨仁川署に訴出で目下該犯人を捜索中なりと

●露淫の立往生

仁川港に一昨朝入港せし三笠丸にて露國醜業婦パール、ミセスメリーと云ふが上陸し直に汽車にて當地壽町にて醜聞を逞し露國醜業婦が釜山に於て營業せるを尋ね行かんとせしも同人の所持せる荷物の運賃二圓の支拂ひが出來ず身体之れ谷まりて泣かんばかりに立ちつくめるを憐れと思ひたるは仁川驛通譯中村某と云ふが金二圓を立替へて同日午後九時五十五分發列車にて釜山に赴かしめたりと

●列車に投石す

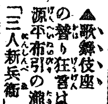
一昨日午後二時五分仁川發列車が梧峴驛、朱安間を通行中列車に投石したる者ありて一等車の硝子を破りたるも乘客に負傷なかりし由而して右列車には榊原憲兵隊長山形分隊長等乘車し居たる爲め或は排日派の所爲にあらずやと一時は非常の混雜を惹起し目下犯人の嚴探中なり

●不都合なる客引　仁川仲町林田旅館の客引兒島敬太と云ふは一昨日仁川驛に於て花屋旅館を指名せる一旅客を無理遣りに引張らんとせるを警官に見咎められ嚴重に說諭さる

●一昨日の新町　同遊廓一昨日の登樓客は百名にして其の遊蕩費は五百二十八圓十二錢の水揚なりしと

●一昨夜の敷島　遊廓嫖客は四十六名にして此揚り高は百五十六圓十五錢なりしといふ

●仁川韓妓の檢梅　仁川韓妓三十九名に對し一昨日檢梅を行ひたるに病氣不參者四名引續入院者九名全治退院者一名なりき



▲歌舞伎座　同座本晩の替り狂言は一番目「源平布引の瀧」二番目「三人新兵衛」となり

▲壽座　同座は見物の好みであつて今明兩日引續きにて「假名手本忠臣藏」大序より討入迄の通し物其の重なる役割は左に

早野勘平、石堂右馬の丞、妻となせ（坂東大之助）鹽谷判官（市川猿志）桃井若狹之助、藥師寺治良左衛門、寺岡平右衛門（嵐芳之助）かほよ御前、一文字屋れ才、れいし（嵐金之助）千崎彌五郎、斧定九郎（市川松孝）鷺阪伴内、れりん（市川鯉昇）仲居れこま（片岡小蝶）矢間重太郎（岩井小せう）竹森喜多八（市川如孝）大星力彌（尾上梅枝）高野師直、原郷右衛門、加古川本藏（片岡蝶昇）斧九太夫、せげん勘九（市川好猿）大星由良之助（鱗十郎）

▲京城座　同座本晩の出し物は「仇結び」全十六場の通しにて役割は左に

奈津目高夫（泉）多左衛門（松村）女學生時子（本田）白林ツヤ子（堀江）女中のれ梅（桂木）村長吉田吉衛門（高山）伊三郎（高島）醫生山本三郎（久保田）三太（鶴）新之助（金澤）平林鎌五郎（美紛）宮本新造（吉井）太吉（田宮）

●寫眞研究會

京龍に於ける官吏、會社、銀行員、醫士其他諸方面の素人寫眞術研究の團体たる韓國寫眞會は發會後漸次入會者增加して現に百八十二名の會員を有し毎月一回印畫の品評會を開き其技能を戰し兼て又印畫集を發行し會員に頒ちつゝあり而して近來技術意匠共に大に進步し專門者をして往々舌を卷かしむるものあり今一度會則を更正し益々同好者を糾合して斯道の研究を爲さんとす韓國の如き趣味に乏しき地にありては紳士の娛樂として最も好適のものと云ふべし



平民文庫

▲廿四日の夜所用ありて中の新地に通りかゝるとリウとした紳士風の男がステツキを打ち拂りつゝ遊廓目蒐けて路を辿つていたが二十步許り手前に來ると車夫が空荷で歸つて來るのに出遇つた▲處が道が惡いせいか僅か二十步の我慢が出來ぬと見ねトウトウ車夫に遊廓まで乘せて呉れと談判を試みた然るに車夫は其の餘りに近き旨を答へて斷つた、が、强ひて賴むので職業柄の車夫さん漸く承諾した▲此の度は第二の問題即ち賃金の協定に取りかゝつたが車屋の五錢と云ふのを三錢に値切つて協商が成立した、紳士殿の曰くが面白い、値切つた代りに前金だと云つて三錢を渡して彼れは車上の人となつて意氣揚々として谷間の橋を過ぎ浪華樓へと登樓した▲二十步の所で三錢出して景氣を附けた程の儉約家だ一度樓上の客となつて能く仲居に五拾錢の祝儀を遣るであらうか頗る疑問である（薩摩藩士）▲大平町二丁目樓竹梅の小蝶と云ふ女は外出して男の尻を附け回るのみならず僕の通行の際に袖を引き千切りやがつた僕の樣なチヨンガー然も偶ま一枚しか持つて居ぬ着物を千切られてどうも困る不都合な奴だ（れ願生）▲先方の女を小蝶と知つて居る所を見ると君も知つてる女だらう野暮を云はずに休へて遣つて呉れ玉へナ（小僧）▲京城で豆腐合戰が稍々熄むだかと思つて居ると今度は東京、大坂も同樣の合戰を開始した換言すれば此れは豆合戰である（ころも）▲蝶々は非常に繁昌するのも無理はない（上戶黨）

▲京城座の田宮一座は非常に喝采して居る好劇家たるもの一度は同座に車を枉げられよ（への字）▲石井さんとやらに關する投書は全く拳骨生君の方が眞實らしい八丁目心配生君のは揑造らしく思はれる（局外者）▲投書家諸君にれ願ひすることはドウカ讀んで面白い則ち笑ふ樣なことを投せられたい成る可く毒のないことが可い憎まれ口は餘り歡迎致しにくい場合もありますから（係）

吉凶鑑

本町五丁目　三一館料

一月廿八日月齢十二ノ十七佛滅九紫癸巳定△一白　失錯障礙多き日なり色情の破れある勿れ△二黑　命名披露舟出旅行相談依賴等妙音信上に間違若くは紛糾起らん△三碧　總じて靜事なり巧言令辭に陥ゆる勿れ△四綠　概して慶福の日なり家庭内に小波瀾若くは煩累あらん△五黃　大抵の事吉自負に流れて失敗を招き倨傲に傾きて禮を失する勿れ△六白　凶運の日なり新事見合の事土木建築治金には吉△七赤　逆調の日新事及複雜の事は見合すべし模樣替方針替改築勤士改革吉△八白　依賴相談婚姻等吉萬事虛飾に流るゝ勿れ△九紫　萬づ謹愼を要すべき日なり中絶離間の虞れど失火の誤りある勿れ

●天氣豫報（自廿七日午後六時至廿八日午後六時）

北東風曇少雨雪

廿六日（華氏）　最高温度　三七、〇　最低温度　一九、二〇

亡妻富士子送葬の際は御多用中にも拘らず御會葬被成下難有奉存候乍略儀以紙上御禮申上候

明治四十三年一月廿七日　大塚常三郎